

単元名 オセアニア州 –強まるアジアとの結び付き–

1 単元のねらい

オーストラリアの貿易相手国の変化のグラフから、オセアニア州とアジアの結びつきが強くなっていることに気づき、「なぜ、オセアニア州はアジアとの結びつきが強くなってきたのか」という単元を貫く課題を設定する。この課題を解決していくことを通して、オセアニア州は、自国の資源や気候を生かして産業を発展させ、アジアからの移民の受け入れなどを積極的に行っていることに気づき、オセアニア州が多文化社会を形成して国を発展させていることが分かる。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> オセアニア州で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。 オセアニア州に暮らす人々の生活を基に、地域的特色を大観し理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> オセアニア州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> オセアニア州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価

	1	2	3	4 単元のまとめ
知識・技能	●	○		
思考・判断・表現		●	○	○
主体的に学習に取り組む態度	●			○

3 単元構造図（全4時間）☆獲得する認識

単元名 オセアニア州 -強まるアジアとの結びつき-	単元学習前の生徒の認識 オセアニア州にある国は、南半球にあるので、日本とは季節が逆になっている。オーストラリアは、海やさんごしょうがきれいだ。島国が多いようだが、日本とのつながりはどのようにになっているのだろうか。
---	---

第1時 オセアニア州をながめて【●知識・技能 ●主体的に学習に取り組む態度】

オセアニア州はどのような地域なのだろうか。

☆乾燥大陸 ☆火山島 ☆さんご礁 ☆アボリジニ ☆マオリ ☆植民地

オーストラリア大陸の内陸部では、降水量がきわめて少なく、草原や砂漠になっており、乾燥大陸と呼ばれている。人口のほとんどは、温帯で比較的降水量が多く農業のさかんな南東部、南西部に集中している。太平洋の島々は火山島とさんご礁からなり、気候は、主に降水量の多い熱帯である。他地域とのつながりを見ると、輸出入総額の変化が大きくなり、他地域とのつながりが深くなっていることがわかる。以前は植民地だったイギリスとの結びつきが深かったが、今はアジアの国々との結びつきが強くなってきたのはなぜだろう。

オセアニア州は、なぜヨーロッパ州に代わってアジア州との結びつきを強めていったのだろう。

第2時 貿易を通じた他地域とのつながり【○知識・技能 ●思考・判断・表現】

オセアニアは経済面で、どのように他地域とつながっているのだろうか。

☆露天掘り ☆混合農業 ☆APEC

オーストラリアの農牧業は、気候に合わせて混合農業や牛の放牧、羊の放牧を行っている。鉱工業では、鉱産資源が豊富なため、アジアに鉄鉱石や石炭などを多く輸出している。オーストラリアは、鉱山資源が多く取れる特徴を基に、APECの結成を主導するなどしてアジア諸国と結びつきを強め、自らの利益につなげているんだ。

第3時 人々による他地域とのつながり【○思考・判断・表現】

オーストラリアにアジア州からの移民が増えてきたのはなぜだろうか。

☆移民 ☆白豪主義 ☆華人 ☆先住民 ☆多文化社会

オーストラリアにアジア州からの移民が増えてきた理由は、白豪主義と呼ばれる政策を撤廃し、多文化社会を築くことを目指しながら、移民を積極的に受け入れるようになってきたことがあげられる。さらに、美しい自然環境を求める日本からの訪問者数も増えてきたことや、アジア人が過ごしやすい環境が整いつつあること、資源が豊富であることで、多くの企業が進出していることも要因にあげられる。今後、多様な人々が共存し、それぞれの文化を尊重できる地域づくりが大切だ。

第4時 オセアニア州の学習をまとめよう【○思考・判断・表現 ○態度】

オセアニア州は、なぜヨーロッパ州に代わってアジア州との結びつきを強めていったのだろう。

オセアニア州は、経済面では、もともとは植民地支配をしていたイギリスを中心としたヨーロッパとの結びつきが強かったが、距離が近く、オーストラリアの鉱山資源を必要としているアジアとの関係を重視したため、アジアとの結びつきが強くなった。人々の結びつきに関しては、国づくりのために白豪主義から多文化社会へと変化させたため、アジアからの移民が増えた。今後、多様な人々が共存し、それぞれの文化を尊重できる地域づくりが大切だ。

単元学習後の生徒の認識

オセアニア州を代表とするオーストラリアは、アジアとの距離も近く、資源や産業、移民などについての結びつきが強い。特に、日本や中国などのアジア州は多くの資源をオセアニア州から輸入している。その背景は、オーストラリアが多文化社会を目指しており、チャイナタウンや様々な言語で書かれた標識を整備すると言った環境が整備されていることがあげられる。グローバル化が進む中で、オセアニア州との関わりは不可欠であるので、ますますお互いの文化を尊重していかなければならない。

4 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準	資料および留意点
1 オセアニア州をながめて	<p>オセアニア州の地域的特色を調べることを通して、オセアニア州の自然環境の特色や、文化、歴史、ヨーロッパ州やアジア州との結びつきに気付き、単元を貫く課題を設定し、追究意欲をもつことができる。</p> <p>☆乾燥大陸 ☆火山島 ☆さんご礁 ☆アボリジニ ☆マオリ ☆植民地</p>	<p>1 オセアニア州に関して知っていることを発表する。 ・カンガルー ・牛肉 ・ラグビー</p> <p>2 本時の学習課題を設定する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">オセアニア州はどのような地域なのだろうか。</p> <p>3 オセアニア州の自然、文化、歴史の特色を資料から読み取り、交流する。 ・オーストラリアは、乾燥大陸と呼ばれる ・オセアニアの島々は、火山島とさんごしょうからなる。 ・オーストラリアにはアボリジニ、ニュージーランドにはマオリという先住民が生活している。 ・オセアニアはヨーロッパの植民地だった。</p> <p>4 輸出入総額の変化から、近年では日本との結びつきの強さをとらえる。 ・かつては、イギリスとの貿易がさかんだったが、日本や中国に変化している。 《単元を貫く課題》</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">オセアニア州は、なぜヨーロッパに代わってアジア州との結びつきを強めていったのだろうか。</p> <p>5 本時のまとめを書く。</p>	<p>・写真資料や雨温図などを適切に読み取ったり、他地域と比較したりして、オセアニアの文化や自然、気候の特色を理解している。 知技＝資料の読み取りの様子</p> <p>・貿易相手国の変化のグラフから、アジアとの結びつきが強くなったことに興味をもつ。 態度＝授業の様子、振り返り</p>	<p>◇オセアニアの地形図 ◇オセアニア各地の雨温図 ◇オセアニアの気候区 ◇グレートバリアリーフ ◇オセアニアの植民地分布 ◇オーストラリアの貿易相手国の変化</p> <p>雨温図から既習の地域と比較し、北半球と南半球の違いをまとめられるようにする。 太平洋地域の掛図を準備し、日本やアジア州との距離がつかめるようにする。</p>
		<p>オーストラリア大陸の内陸部では、降水量がきわめて少なく、草原や砂漠になっており、乾燥大陸と呼ばれている。人口のほとんどは、温帯で比較的降水量が多く農業のさかんな南東部、南西部に集中している。太平洋の島々は火山島とさんご礁からなり、気候は、主に降水量の多い熱帯である。</p> <p>他地域とのつながりを見ると、輸出入総額の変化が大きくなり、他地域とのつながりが深くなっていることがわかる。以前は植民地だったイギリスとの結びつきが深かったが、今はアジアの国々との結びつきが強くなってきたのはなぜだろう。</p>		
2 貿易を通じた他地域とのつながり	<p>オーストラリアの農牧業や工業関する分布資料や貿易に関する統計資料を読み取り、その特色を理解すると共に、オーストラリアとアジア州との関係性を捉えることができる。</p> <p>☆露天掘り ☆混合農業 ☆APEC</p>	<p>1 オーストラリアの主要生産物を問う。 ・羊毛 ・牛肉 ・鉄鉱石</p> <p>2 課題を設定する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">オセアニアは経済面で、どのように他地域とつながっているのだろうか。</p> <p>3 資料からオセアニアの農工業や貿易の特色を読み取る。 ・鉱産資源が豊富であり、大規模な露天掘りを行い、東側が石炭、西側は鉄鉱石が多く産出している。 ・比較的降水量の多いところは牛の放牧が、それよりも降水量の少ないところは羊の放牧が行われており、小麦の栽培と組み合わせることもしている。 ・農産物から鉱産物の輸出に変化しており、鉱山資源を必要としているアジアに多く輸出するようになったんだ。</p> <p>4 APECの資料から、アジアとの結びつきを深めたことを読み取る。 ・オセアニアは資源を求めており、距離も近いアジアとの結びつきを強めようとしたんだ。</p> <p>5 本時のまとめを書く。</p>	<p>・農業や鉱工業の分布図を適切に読み取り、自然環境に応じた産業を行っていることが分かる。 知技＝資料の読み取り</p> <p>・アジアの工業化とオーストラリアのアジアとの関係作りを関連させて捉えようとしている。 思考＝話し合いの様子</p>	<p>◇オーストラリアの貿易品の変化 ◇オーストラリアの農業 ◇オーストラリアの鉱工業 ◇露天掘りの鉱山 ◇オーストラリアのおもな輸出品の輸出先 ◇APECの加盟国</p> <p>アジア州の学習を想起させ、アジアは急速な工業化をしており、オセアニアの資源を求めていることを捉えられるようにする。</p>
		<p>オーストラリアの農牧業は、気候に合わせて混合農業や牛の放牧、羊の放牧を行っている。鉱工業では、鉱産資源が豊富なため、アジアに鉄鉱石や石炭などを多く輸出している。オーストラリアは、鉱山資源が多く取れる特徴を基に、APECの結成を主導するなどしてアジア諸国と結びつきを強め、自らの利益につなげているんだ。</p>		

<p>3 人々による他地域とのつながり</p>	<p>オセアニアにアジア州からの移民が増えてきた理由を、考えるとともに、多文化社会を築くためには何が必要かをまとめることができる。</p> <p>☆移民 ☆白豪主義 ☆華人 ☆先住民 ☆多文化社会</p>	<p>1 オーストラリアに暮らす移民の出身州割合の移り変わりの資料から課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>オセアニア州にアジア州からの移民が増えてきたのはなぜだろうか。</p> </div> <p>2 資料から事実を読み取り、交流する。 ・白豪主義を変え、現在は多文化社会を目指していることで積極的に移民を受け入れている。 ・美しい自然景観を求めて約30年間に日本人訪問者数が3倍に増えている。 ・鉱産資源が豊富なため、多くの企業が進出している。距離がちかく時差もないため進出しやすいんだ。</p> <p>3 多文化社会を築くためにはどのような行動や態度が大切かを考える。 ・オーストラリアでは多くの言語が話されているんだ。 ・まずはそれぞれの文化を知ること、そして、それぞれの文化を尊重する態度が大事。 ・どの人々の権利も尊重できる社会づくりが大切だ。</p> <p>4 本時のまとめを書く。</p>	<p>・アジア州からの移民が増えてきた理由を、観光が盛んになってきていること、受け入れ環境が整っていること、豊富な資源があることを結び付け、考察するとともに多文化社会を築くために必要なことを考えている。 思考=話し合いの様子・まとめ</p>	<p>◇オーストラリアに暮らす移民の出身州割合の移り変わりと歴史 ◇多くの観光客が訪れるタヒチ島 ◇オセアニアへの日本人訪問者数の変化 ◇オーストラリアが受け入れた民族の地域別割合 ◇アジアからの距離と時差 ◇オーストラリアで話されている言語 ◇アボリジニ文化を学ぶ</p> <p>人々が移動した理由を考えるという視点を明確にし、追究できるように支援する。</p>
<p>オーストラリアにアジア州からの移民が増えてきた理由は、白豪主義と呼ばれる政策を撤廃し、多文化社会を築くことを目指しながら、移民を積極的に受け入れるようになってきたことがあげられる。さらに、美しい自然環境を求めるアジアからの訪問者数も増えてきたことや、アジアから近く時差もないこと、資源が豊富であることで、多くの企業が進出していることも要因にあげられる。今後、多様な人々が共存し、それぞれの文化を尊重できる地域づくりが大切だ。</p>				
<p>4 オセアニア州の学習をまとめよう</p>	<p>オセアニア州とアジア州との結びつきが強くなってきた様子を図でまとめることを通して、多文化社会を築こうとしている理由を、多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p>	<p>1 これまでの学習を振り返り、課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>オセアニア州は、なぜヨーロッパ州に代わってアジア州との結びつきを強めていったのだろうか。</p> </div> <p>2 図を作成する。</p> <p>3 作成した図を全体交流で発表し合い、自分たちの表になかった内容があれば書き加える。</p> <p>4 単元を貫く課題について自分の考えをまとめる。</p>	<p>・アジアとの結びつきが強くなってきた理由を、多文化社会を気づこうとしている理由と関連付けて、多面的・多角的に考察している。 思考=単元のまとめ</p> <p>・自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察し、多文化社会の実現に向けて大切にしたい態度や行動を示している。 態度=話し合いの様子・単元のまとめ</p>	<p>◇ひろとさんのグループが作成した図をもとにして、ピラミッドストラクチャークラゲチャートを作成する。</p> <p>様々な人（現地の人、移民、アジア州に住む人など）の立場に立って考えるように促し、多角的に多文化社会の実現について考えられるようにする。</p>
<p>オセアニア州は、経済面では、もともとは植民地支配をしていたイギリスを中心としたヨーロッパとの結びつきが強かったが、距離が近く、オーストラリアの鉱山資源を必要としているアジアとの関係を重視したため、アジアとの結びつきが強くなった。</p> <p>人々の結びつきに関しては、国づくりのために白豪主義から多文化社会へと変化させたため、アジアからの移民が増えた。今後、多様な人々が共存し、それぞれの文化を尊重できる地域づくりが大切だ。</p>				